

※文字の大きさは Meiryu UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせた作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

※事務局記入欄

【様式2】

No. 164

エントリー学校名: 愛知県西尾市立佐久島しおさい学校

活動名:

主タイトル (12文字以内) 資質・能力の育成に向けて

副タイトル (16文字以内) カリキュラムマネジメント・モデル

解決すべき課題:

- ①義務教育学校として前期課程1年生から後期課程3年生までの育てたい資質・能力の共通理解。
- ②育てたい資質・能力を育成するためのカリキュラム開発(教科等横断的なカリキュラム作り)。
- ③資質・能力を育成するためのICTを活用した授業実践・成果の分析(ZOOMを使った授業づくり)。
- ④資質・能力を育成するための各教科等での授業を実践する力を全職員が身につける。

目標・方針:

- ①目標 子どもの実態から考えた資質・能力の育成に向けて、カリキュラムマネジメント・モデルを活用した研修計画、実施、評価、改善を行い、授業改善へとつなげていく。
- ②方法 研究や研修をカリキュラムマネジメント・モデルで位置づけを示しながら、全職員全員が共通理解のもと子どもの成長へと関わることを意識させる。

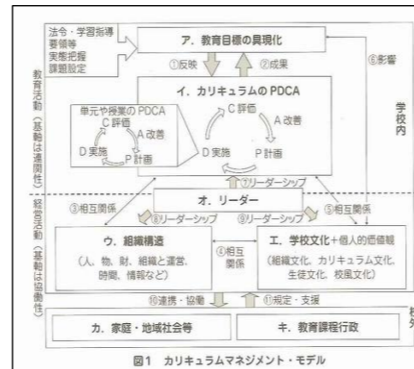


図1 カリキュラムマネジメントハンドブック 株式会社ぎょうせい 田村知子

活動内容:

- ①育てたい資質・能力を明確化し、発達段階に合わせた具体的な目標設定を行った(ベンチマーク)。
- ②資質・能力の育成を目標としたカリキュラム開発ワークショップ研修の実施(カリキュラム開発WS)。
- ③職員の課題意識を大切にICT活用研修、授業の実施、成果の分析(ZOOM活用研修)。
- ④資質・能力を育成するための指導案づくり、指導案検討、成果の分析。

活動の成果:

- ①各教員が学年の子どもの実態から発達段階に合わせた具体的な目標設定を行い、共通理解を行った。
- ②生活科・総合的な学習の時間と各学年の行事等を軸にしながら、各教科の内容やスキルの重なりを意識した資質・能力を育てるカリキュラム開発研修を全員参加で行い、カリキュラム実施への見通しをもった。
- ③ZOOMを体験し、先生方から課題や改善策を聞きながら、授業構想、実施、評価、分析を行った。
- ④育てたい4つの資質・能力を指導案に記入する項目を設けたり、授業検討会でも、個々の資質・能力を育成することについて重点的に話したりすることで、全職員が同じ意識をもって授業に取り組むことができた。

アピールポイント(アイデアや工夫):

- ①ボトムアップで資質・能力の明確化、ベンチマークを作成することで、自分たちの目標という意識をもつ。
- ②資質・能力を育てるために行事・活動等と教科等を関連させたカリキュラムを開発する力をつける。
- ③資質・能力を育てるためのICTを活用した授業であることを、カリキュラムマネジメント・モデルで分析し、学習活動、学級経営等との関連・関係について伝えていく(カリキュラムマネジメントの枠組みをもつ)。
- ④4つの資質・能力を育てるための授業づくりを体験し、その学びの振り返りなどを研究部通信等で共有。

①-1 研究主題、目指す子どもの姿、資質・能力

島に誇りを持ち、未来を切り拓く子どもの育成
 ~ 義務教育学校よさと、地域の人・もの・こととの関わりを生かして ~

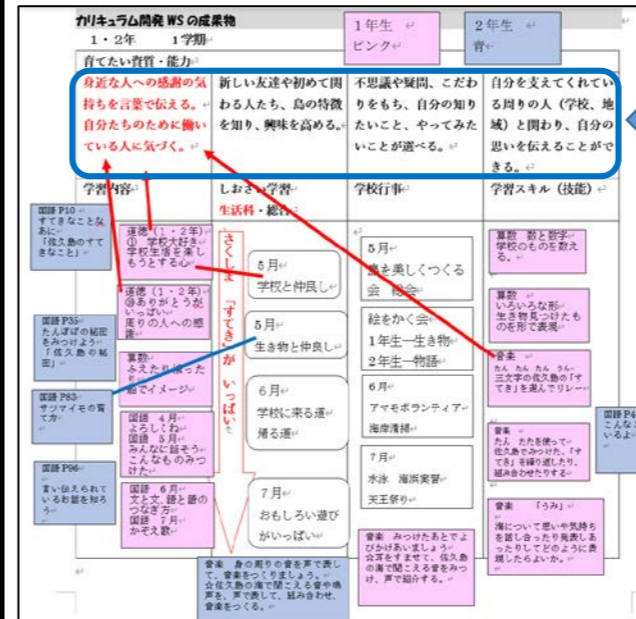
1. 目指す子どもの姿

○人・もの・ことに感謝の気持ちを持ち、地域や他文化、他の価値観を受け入れる子
 ○粘り強く問題解決に取り組み、他者と関わり、自分の考えを表現する子

目指す子どもが求める資質・能力を以下の4つに定めた。

| 資質 | 能力 |
|---------------------------------------|--|
| 人・もの・ことに感謝の気持ちをもてる心(以下 感謝の心) | 粘り強く問題を解決する力(以下 問題を解決する力) |
| 地域や他文化、他の価値観を受け入れる心(以下 多様な価値観を受け入れる心) | コミュニケーションを取り、自分の考えを表現する力(以下 コミュニケーション能力) |

②カリキュラム開発ワークショップの成果物



④-1 資質・能力を育てるための指導案検討の様子を研究部通信で伝える

前期課程4年生 教科(国語科) 単元名「山場のある物語を書こう」

| 感謝の心 | 多様な価値観を受け入れる心 | 問題を解決する力 | コミュニケーション能力 |
|----------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
| 島の人・行事・自然などに感謝の気持ちを持ち、伝えることができる。 | 自分と他者の考えの違いに気づくことができ、そして、理解しようとする。 | 自分から課題に取り組み、課題の原因や背景を考え、具体的な改善案を考える。 | 周りの人と話し合い、自分の考えを明確にし、発信することができる。 |

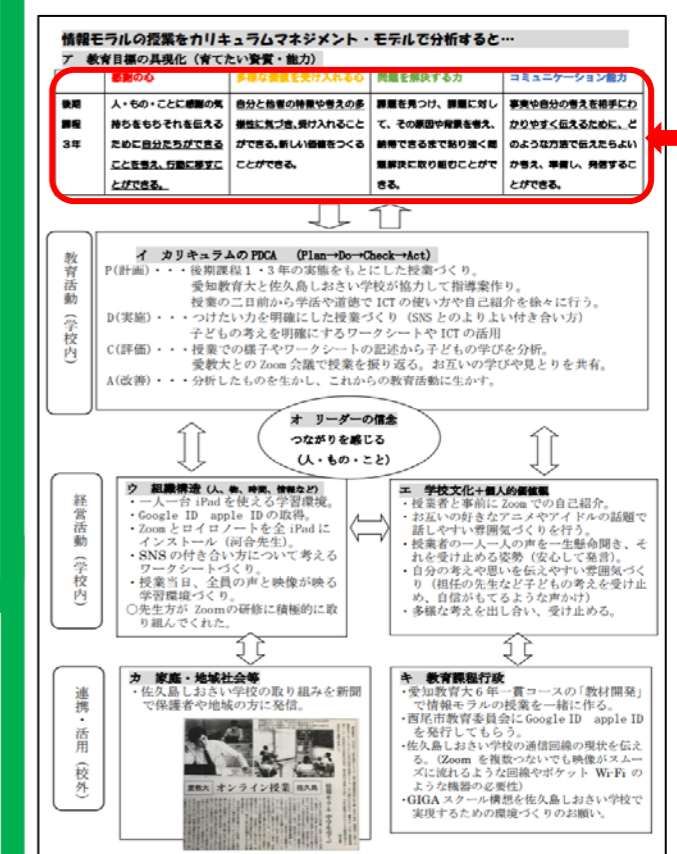
後期課程5・6年生 教科(算数科) 単元名「角柱と円柱」

| 感謝の心 | 多様な価値観を受け入れる心 | 問題を解決する力 | コミュニケーション能力 |
|----------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
| 島の人・行事・自然などに感謝の気持ちを持ち、伝えることができる。 | 自分と他者の考えの違いに気づくことができ、そして、理解しようとする。 | 自分から課題に取り組み、課題の原因や背景を考え、具体的な改善案を考える。 | 周りの人と話し合い、自分の考えを明確にし、発信することができる。 |

①-2 ベンチマーク(発達段階に合わせた目標設定)

| 発達段階 | 感謝の心 | 多様な価値観を受け入れる心 | 問題を解決する力 | コミュニケーション能力 |
|-----------|---|--|--|--|
| 後期課程3年生 | 人・もの・ことに感謝の気持ちを持ち、それを伝えるために自分たちができていることを考え、行動に移すことができる。 | 自分と他者の特徴や考えの多様性に気づき、受け入れることができる。新しい価値をつくる。 | 課題を見つければ、課題に対して、その原因や背景を考え、納得できるまで粘り強く問題解決に取り組むことができる。 | 事実や自分の考えを相手にわかりやすく伝えるために、どのような方法で伝えたらよいか考え、準備し、発信することができる。 |
| 後期課程1・2年生 | 人・もの・ことに感謝の気持ちを持ち、行動することができる。 | 自分と他者の考えに気づき、受け入れその長所を自分の中にとり入れるようとする。 | 課題に対して、その原因や背景を考えて、主体的に取り組むことができる。 | 自分の考えを相手にわかりやすく伝えるために、考えの根拠をもって発信することができる。 |
| 前期課程5・6年生 | 島の人・行事・自然などに感謝の気持ちを持ち、伝えることができる。 | 自分と他者の考えの違いに気づくことができる。そして、理解しようとする。 | 自分から課題に取り組み、課題の原因や背景を考え、具体的な改善案を考える。 | 自分の考えを、順序立てたりしながら、相手に分かりやすく発信することができる。 |
| 前期課程3・4年生 | 島の人・行事・自然などに感謝の気持ちをもつことができる。 | 自分と他者との考えの違いに気づくことができる。 | 課題の原因や背景を考え、発信することができる。 | 周りの人と話し合い自分の考えを明確にし、発信することができる。 |
| 前期課程1・2年生 | 身近な人への感謝の気持ちや言葉で伝える。自分たちのために働いている人へ気づく。 | 新しい友達や初めてわかる人たち、島の特徴を知り、興味を高める。 | 不思議や疑問、こだわりたいこと、やってみてみたいことが選べる。 | 自分を支えてくれている周りの人(学校、地域)とかかわり、自分の思いを伝えることができる。 |

③資質・能力を育てるためのICT活用



- ④-2 成果(指導案づくり・授業の振り返り)**
- ・見通しをもって、指導案作り、指導案検討に取り組むことができた。
 - ・研究部通信で解説などしてくれたことで、授業づくりのポイントや資質・能力を育てる価値を感じることができた。